

「ホッピー・アートランド」開始のご案内

この度、ニューヨークを拠点とするトップデザイナーFUKO CHUBACHI氏がプロデュース&アートディレクションを手がける「ホッピー・アートランド」が開始致しました。

当プロジェクトは、毎月更新されるホッピーのスペシャルカレンダープロジェクトとして2016年1月より始動致しました。世界中のアーティストの中から毎月一人が、従来のイメージにとらわれず、ホッピーの世界を自由にアートで表現します。カレンダーとしてだけでなく、ポスターとしてもお楽しみいただけます。

弊社は2013年よりブランディングの一環として、ニューヨークでの飲食店様にてホッピーのお取り扱いが始まり、定期的にイベントの開催などを行って参りました。今後もホッピーの無限の可能性を広げるべく、邁進して参ります。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

・ 食べれません。目で楽しむ『酒の肴』プロジェクト。

・ ホッピーが世界中のアーティストとコラボ!

・ ホッピーのニューヨーク進出を更に後押しか?

「アートランド」とは?

NY在住アートディレクターFUKO CHUBACHI氏がHOPPYと共にプロデュースするアートプロジェクト。世界中のアーティストが毎月一人、ホッピーの世界を自由に表現。制作された作品はポスター式カレンダーとして日本国内のホッピー取り扱い店に配布。またホッピーウェブでも公開予定。

“酒の肴”コンセプト

「人が夢を語る時にはいつもホッピーがある」そう言われるほど、ホッピーのイメージは夢の数と同様に千差万別。ある人にとっては、ホッピーは自分を応援してくれる一杯、またはおつかれさまの一杯、そして健康を意識した人にはヘルシーな一杯だったりする。そんな個々のイメージで

応援してくれるファンの皆様が、ホッピーを飲む時の目で見ると「酒の肴」として楽しんでもらえるよう、飲食店に毎月更新・配布。

プロジェクト誕生秘話



ホッピーは2013年、正式にNY進出。現在はNYのセレクトされたレストランで提供され、味にうるさいニューヨークカー達の間でも確実にファンを増やしている。主に東京で愛され続けるホッピーは、新たなマーケットとしてニューヨークを選んだ。それは、どこかニューヨークが東京と似て

いるかもしれない、と感じた三代目社長・石渡の決断だった。世界をリードするNYで働く人々の癒しの場は、やはり同僚や友人、家族と語り合う『飲み』の時間であり、『食』の時間だと感じ、東京と重ねて見えたのだ。ただ似ていると感じる一方で、人種のつぼNYのグローバル感は決定的な違いであり、それがNYを面白くしていた。東京という街で育てられてきたホッピーブランドが、NYや世界の人々からどう見られるのか、感じられるのか、それを石渡とFUKO氏が語り合い「ホッピー・アートランド」が生まれるきっかけになった。



「ホッピー・アートランド」作品例



2月のアーティスト:

HOLLY WALES (イギリス在住)

イギリス・ロンドンを拠点に活動。カラフルでレイヤー豊かな手描きのイラスト作品で雑誌や書籍のカバーを手掛けるほか、ナショナルジオグラフィックやニューヨーク・タイムズ・マガジン、ハフィントンポスト、フィナンシャル・タイムズ、ユニクロなど多様なクライアントを持つ。オランダ・アムステルダムなど世界各地で個展を開催、WINCHESTER SCHOOL OF ARTやLEEDS COLLEGE OF ART & DESIGNなどの美術大学で教鞭もとっている。グリーティング・カードやトートバッグなどオリジナルグッズも制作、人気を博している。



3月のアーティスト:

LUCILE PRACH (フランス在住)

パリ在住のイラストレーター。繊細かつダイナミックな線とフォルム、色づかいで見る者を魅了する作風で、DIORやYVES SAINT LAURENTなどをはじめ、パリに本店を構える高級百貨店GALERIES LAFAYETTEなどをクライアントに持つ。作品のインスピレーションは、ラベルのタイポグラフィや路上に捨てられた新聞紙など、日常生活の「ひとコマ」から。幼いころからバレエを学び、自らの作品について「ダンスと同じようなもの。ダンサーはステージの上ではいつも笑顔でいなければならないけれど、そこにはたゆまぬ努力がある」と語る。



4月のアーティスト:

TRACY FENNELL (イギリス在住)

ダイナミックな水彩画に定評のあるイギリスの画家トレイシー・フェネル。ポートレイトを得意とし、広告やエディトリアルの世界でも注目を集めている。過去にはマザー・グースアワードにノミネートされ、子供向けのメディアからファッションブランドまで幅広いクライアントを持つ。近年は水彩画だけにとどまらず、デジタルアートの世界にも進出し、今後の活躍に目が離せない。



Fuko Chubachi略歴: ニューヨークを拠点に活躍する日本人アートディレクター。撮影からアルバムジャケットのデザイン、広告キャンペーンの展開にいたるまで様々な分野で世界的に活動。主にビヨンセ、マイケルジャクソン、マライアキャリーなどのアルバムジャケットを手がけ、2012年にはiPad向け専用マガジンHEAPSを立ち上げた。編集長として新感覚のデジタルマガジンのコンテンツ制作とデザインを統轄し、現在はデザイン・コンサルティング会社『3 DAY MONK』の代表としても、活躍の場は幅広い。

以上

【当企画に関するお問い合わせ先】

ホッピービバレッジ株式会社：ナレッジマネジメント部門 HOPPY未来開発室 宣伝担当 TEL:0120-5137-88

※毎月配送ご希望の方はお気軽に御連絡ください。

in HoppyBeverageCo

HOPPY